

# 平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	理科	科目	地学基礎	学年	1年
担当者	柴田			単位数	2
使用教科書	新編 地学基礎(数研出版)				
使用教材	ニューステージ新地学図表(浜島書店)				
教科・科目の指導目標	地学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月 5月	1学期 中間 考査	序-1 太陽系の天体  序-2 太陽系の誕生と地球の進化  1-1 地球の構造～ 地球の形と大きさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽系の天体とその特徴について説明できる。</li> <li>地球型惑星と木星型惑星の特徴について説明できる。</li> <li>太陽系の誕生の過程と惑星の形成について理解する。</li> <li>地球の形成過程を学び、現在の地球の姿について考えることができる。</li> <li>地球の形や大きさの測定方法の歴史について知り、地球の形に近い回転楕円体である地球楕円体と関連付けて理解する。</li> </ul>	12
6月 7月	1学期 期末 考査	1-1 地球の構造～ 地球の構造  1-2 プレートテクトニクス	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球内部の各層の代表的な構成物質や、状態の違いを密度と関連付けて説明できる。</li> <li>3通りのプレート境界と中央海嶺や海溝、大山脈などの大地形との関連性について説明でき、プレート運動の原動力としてマントル内のブルームの存在について知る。</li> <li>マグマの生成や火山分布、火山活動、地震の発生について、</li> </ul>	12
7月 10月	2学期 中間 考査	1-3 地震と地殻変動  1-4 火山  2-1 移り変わる地球 ～地層の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震の発生する原因や海溝型地震と内陸活断層による地震との違いについて説明できる。</li> <li>マグマの生成や火山分布、火山活動の原因について知り、ホットスポットについて知る。</li> <li>火成岩の組織や造岩鉱物の組成、密度、色などの観察・測定</li> <li>露頭の観察や化石から、過去の堆積環境や表層環境を推定することができる。</li> </ul>	14
10月 12月	2学期 期末 考査	2-1 移り変わる地球 ～古生物の変遷と地球環境  #REF!	<ul style="list-style-type: none"> <li>化石の観察などから、古生物の変遷を理解し、光合成生物による酸素の増加やオゾン層の形成など、大気の変化と生命活動を関連付けて地球の環境変遷について説明できる。</li> </ul> <p>#REF!</p>	14
12月 3月	学年 末 考査	3-1 地球の熱収支  3-2 大気と海水の運動  5-1 太陽と恒星  4 地球の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気の組成や層構造について理解し、熱圏でのオーロラや流星などの現象について理解する。</li> <li>地球の熱収支について理解し、大気が生物に及ぼす影響について考える。</li> <li>大気の大循環の構造と、その働きについて理解する。</li> <li>海水の運動について理解し、地球環境に及ぼす影響について考える。</li> <li>太陽スペクトルの吸収線や輝線から、太陽に存在する元素が推定できることについて理解する。</li> <li>恒星としての太陽の誕生から末期までの様子を説明でき、その進化の過程で炭素や酸素などの元素が誕生することについて理解する。</li> <li>1年間学んだ内容を元に、地球の環境と人間との関係について考える。</li> </ul>	18

評価の観点・方法	授業中の机間巡視や発問、必要に応じてレポート等により、プリントの内容や問題の理解度を図る。 定期考査により、知識だけでなく思考力・判断力・表現力についての力を見る。
----------	---